

1 たまみやっ子学力向上プラン 全体構想図

児童の実態【授業等からみた学力等】	学力学習状況調査より【分析概要】
<p>○全体的に学習に対する意欲が高い。</p> <p>○宿題や自学に熱心に取り組む児童が多い。</p> <p>○パソコンを使った学習を楽しんでいる児童が多い。</p> <p>▲自分の思いを相手に伝えることが苦手で、全体的に積極性に欠ける。</p> <p>▲自分の思いを文章で書き表すことが苦手である。</p> <p>▲基礎基本の定着が不十分な児童がおり、学力差が大きい。</p>	<p>【県学調より】</p> <p>○平均値は、学年よりばらつきがある。</p> <p>全体的に、国語が県平均より低い傾向にある。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・4年生 国語 やや高い 算数 高い ・5年生 国語 やや低い 算数 やや低い ・6年生 国語 やや低い 算数 やや低い <p>○規律ある態度については、おおむね市・県よりも高い状態である。「挨拶」・「話を聞き発表する」については、8割を切る学年もある。</p>

学校教育目標 具現化



夢に向かって 心豊かに 伸びゆく子

～確かな学力で楽しく学ぶ子の育成～



○学びの土台を身に付け、意欲をもって学習に取り組む子

○基礎的基本的な知識・技能を身に付ける子 ○自分で課題を発見し、解決しようとする子

○学んだことを自分なりの方法で表現する子 指標 **県平均正答率と同等**

授業改善「できてわかって楽しい授業」	授業以外の改善
<p>○学習規律がしっかりした授業【土台づくり】</p> <p>○課題を自分のものにする授業</p> <p style="padding-left: 20px;">□「？」を大切にする授業</p> <p>○自分の力で解決する時間を確保した授業</p> <p>○具体的な操作など工夫のある授業</p> <p>○仲間と話し合い、学びを深める授業</p> <p style="padding-left: 20px;">□「？」を「！」にかえる授業</p> <p>○身に付ける時間を確保した授業</p> <p>○自分の考えをノートに書く授業</p> <p>○自分の学びを振り返る授業</p>	<p>○規律正しい生活習慣</p> <p>○名人テスト（漢字・計算）への取組</p> <p>○がんばりタイムの取組</p> <p>○発達段階に応じた家庭学習【家庭連携】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・漢字・計算などのドリル学習 ・自ら主体的に学習を進める自主学習 <p>○道徳・特別活動を中心とした豊かな心の育成</p> <p>○自己肯定感、所属感等を向上させる学級経営</p> <p>○楽しい体育授業・活動の中で培う</p> <p style="text-align: right;">生きる力の礎となる体力の増強</p>

学力向上年間指導計画

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
プラン確認・実施	全学調実施	県学調実施	名人テスト・補習	問題分析・実態分析・ プラン改善【長期】	改善プラン実施開始			名人テスト・補習			プラン改善	名人テスト・補習

2 学力向上の取組

(1) 授業改善

① 学力を身に付ける授業改善【スタンダード】

段 階	指導事項
導 入 【5分】	① 統一した号令 ② 5分で導入 ③ 前時との橋渡し ④ 児童に「？」をつけ、やってみたい気にさせる導入 ⑤ 児童一人一人のものとさせる本時の課題提示の工夫
展 開 【35分】	<p>【10分】 十分な時間を確保すること</p> ① 自力解決 <ul style="list-style-type: none"> ・具体的な操作、ヒントカード等の工夫 ・これまで学習した方法でできないか ・ノートを使って試行錯誤 ・机間個別指導 <p>【15分】</p> ② 意見交流 <ul style="list-style-type: none"> ・仲間と話し合い、学びを深める ③ 正しい知識等の定着 <ul style="list-style-type: none"> ・「？」→「！」 <p>【10分】</p> ④ 知識等を確実に身に付ける時間 <ul style="list-style-type: none"> ・教科書やドリルによる反復 ・教師の指導を強める場面 <div style="border: 2px solid red; border-radius: 20px; padding: 10px; margin-top: 10px;"> <ul style="list-style-type: none"> ◆ スタンダードをもとに、各教科等の特性を踏まえた授業とすること。 ◆ 話し合いや対話については、自分の心の中で行う場合もあること。 ◆ 今日新しく身に付けたことを、一人一人が認識できるようにすること。 </div>
終 末 【5分】	<p>【5分～10分】</p> ① 本時の学習のまとめ確認 <ul style="list-style-type: none"> ・ねらいに即したまとめや児童の頑張りを称える場とする ② 本時の学習の振り返り <ul style="list-style-type: none"> ・自分の学びを振り返る ・新しく身に付けたこと ・学習についての感想 ③ 次時について

②指導体制の工夫

○少人数及び複数体制での指導

- ・主に算数において 1・2年 担任・いきいき先生
- 3・4年 担任・学力向上支援員
- 5・6年 担任・教務

③授業を支える学習規律【学びの土台】

③-1 学習に向かう姿勢

- 筆箱の中身 ……学習に必要なものだけを筆箱に入れ、自分で管理する力を身につけ、自ら学習環境を整える。
- 机上の準備 ……授業後、次の学習の準備をしてから休み時間にし、授業への心構えを身につける。
- 鉛筆の持ち方・下敷きの使用
……「当たり前前」のことを「当たり前」にやること」という、意識の定着を目指す。

③-2 授業中の活動

- 号令の仕方 ……授業開始・終了の号令を全クラス統一し、6年間一貫した流れをつくる。
- ノートの書き方 ……書き方の型を整え、6年間一貫したノート作りをする。
- 「？」を「！」にする授業
児童の疑問「何でだろう？」を大切に「これがわかった！」を言える授業づくりをする。

(2) 授業以外の改善

- ①がんばりタイム …… 令和4・5年度の学校課題研究である国語の研究との連鎖を図る。
視写や実況中継等を行う。
→書くことへの抵抗感の軽減や自分の思いや考えを書き表す練習

②「漢字・計算名人テスト」(毎学期末に実施)

全校の取組として、学期末に「漢字・計算」のテストを実施する。学力の定着、児童の学習意欲の向上をねらいとする。
合格できなかった児童は、その後補習をする機会をつくり、全員合格をさせる。

③家庭学習【学年×10～15分を目安に取り組ませる】

- ・ねらい ○家庭学習の習慣を身に付けさせる。
○漢字や計算などの基礎的な学力の向上を図る。
○自ら主体的に学習を進める習慣や態度を育てる。

時間	10	20	30	40	50	60分
1年	音読/ドリル	10分				
2年	音読	ドリル	20分			
3年	音読	ドリル	自主学習他	30分		
4年	音読	ドリル	自主学習・予習・復習他		40分	
5年	音読	ドリル	自主学習・予習・復習他			50分
6年	音読	ドリル	自主学習・予習・復習			60分

④その他、学力向上を支える礎

- 道徳・特別活動を中心とした豊かな心の育成
- 自己肯定感、所属感等を向上させる学級経営
- 楽しい体育授業・活動の中で培う、生きる力の礎となる体力の増強



家庭学習のすすめ

小学校 1・2年生



家庭学習とは…？

宿題と自主学習(自学)のことです。

◎宿題……必ずやってほしい課題です。主に、「読む」「書く」「計算する」等の基礎学力を身に付けることを目指します。

◎自主学習…自分で課題を見つけて行う学習です。宿題では足りないところを補ったり興味や関心があることに進んで取り組んだりします。

家庭学習で身に付くかって…？

基礎学力が確実に身に付きます。また、自分で学習時間を作り出そうとする態度が「考える力」や「表現する力」を伸ばし、さらに「意欲」「自分をコントロールする力」「生活リズムを整える力」「自己決定力」「集中力」「課題発見力」「課題解決力」「豊かな自尊感情」「嫌なことでも我慢する心」等の『人間力』となって、自分自身を高めます。これらの力は、毎日こつこつと努力する繰り返しの中で身に付いていくもので、社会人として必要な力でもあります。

1・2年生では…

「早寝・早起き」「規則正しい食事」「朝の排便」など基本的な生活習慣を身に付けることが学習習慣の定着に欠かせません。

学校での学習を受け、学習内容や方法を決め、できたことをほめることによって興味・関心を引き出し、意欲を高めることができます。

学習時間のめやす

15～30分

月 日

学年×10～15分が目安です！

家庭での援助

- 学習を始める前に、テレビを消しましょう。勉強する場の整理整頓をしましょう。
- まずは、毎日宿題をやり切らせることを続けましょう。
- 毎日、何時からなどと学習時間を決めて、家庭学習をして終わったら見届けましょう。
- 学校からの連絡やお便り、明日の授業の準備などを子どもと一緒に確かめることも大切です。



国語



社会



算数

学校で主に宿題として位置付けているもの

- ・音読 ・計算カード
- ・漢字の練習(ドリル・ノート等)
- ・算数の学習(ドリル・プリント等)
- ・パソコン(週1回程度) 等

※学習の進度に応じて、内容や量を調整しています。また、復習や定着のために、今まで学習した内容を出すことがあります。



理科

さらに力を伸ばすために…

<p><国語></p> <p>○漢字</p> <ul style="list-style-type: none"> ・書き順や文字の形に気をつけて書きましょう。 ・丁寧にゆっくり書きましょう。 <p>○読書</p> <ul style="list-style-type: none"> ・読み聞かせをしてあげることも大切です。 	<p><算数></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ゆっくりでもいいので、正確に計算できるように練習しましょう。 ・徐々に速く計算できるように練習しましょう。 ・間違った問題は、必ず見直し、もう一度やり直しをしましょう。 	<p><その他></p> <ul style="list-style-type: none"> ・楽しかったこと、嬉しかったことを自分の言葉で、絵日記や日記に書いてみましょう。 ・音楽の鍵盤ハーモニカを練習したり、生活科で動植物の観察をしたりすることも大切です。
--	---	---

お困りの際には…

※家庭学習についてお困りのことがありましたら、担任までご相談ください。



～家庭学習3つのポイント～





- ① テレビを消して、学習に集中する。
- ② 身の回りを整頓して学習する。
- ③ よい姿勢で学習する。



家庭学習のすすめ

小学校 3・4年生



家庭学習とは…？

宿題と自主学習(自学)のことです。

◎宿題……必ずやってほしい課題です。主に、「読む」「書く」「計算する」等の基礎学力を身に付けることを目指します。

◎自主学習…自分で課題を見つけて行う学習です。宿題では足りないところを補ったり興味や関心があることに進んで取り組んだりします。

家庭学習で身に付くかって…？

基礎学力が確実に身に付きます。また、自分で学習時間を作り出そうとする態度が「考える力」や「表現する力」を伸ばし、さらに「意欲」「自分をコントロールする力」「生活リズムを整える力」「自己決定力」「集中力」「課題発見力」「課題解決力」「豊かな自尊感情」「嫌なことでも我慢する心」等の『人間力』となって、自分自身を高めます。これらの力は、毎日こつこつと努力する繰り返しの中で身に付いていくもので、社会人として必要な力でもあります。

3・4年生では…

自立心が芽生えてくるとともに、自分でやろうとすることが多くなり、「やる気」や「根気」が育つ時期です。語い(言葉)の獲得能力が高くなり、抽象的な思考ができるようになると言われています。

「急に勉強が難しくなった」という戸惑いや苦手意識をもつ子どもも出てきます。自信をもたせたり、意欲をふくらませたりするような励ましが大切です。

学習時間のめやす

30~40分

月 日

学年×10~15分が目安です!

~家庭学習3つのポイント~

- ① テレビを消して、学習に集中する。
- ② 身の回りを整頓して学習する。
- ③ よい姿勢で学習する。



家庭での援助

○家族のあたたかい助言や励ました言葉でやる気をもたせたり、宿題や持ち物を点検したりするなどの手助けが必要です。徐々に自分でできるように支援していきましょう。

○自分から机に向かう姿勢を育て、集中して取り組む習慣を付けさせることが重要です。

○学校からのお手紙などは、保護者が必ず確認しましょう。

学校で主に宿題として位置付けているもの

国語

社会

算数

- ・音読
- ・漢字の練習(ドリル・ノート等)
- ・算数の学習(ドリル・プリント等)
- ・パソコン(週1回程度)等

※学習の進度に応じて、内容や量を調整しています。また、復習や定着のために、今まで学習した内容を出すことがあります。

理科

さらに力を伸ばすために…

<p><国語></p> <p>○漢字</p> <ul style="list-style-type: none"> ・とめ、はね、はらいに気をつけて、丁寧に繰り返し練習しましょう。 <p>○読書</p> <ul style="list-style-type: none"> ・色々な種類の本を選んで読むようにしましょう。 	<p><算数></p> <ul style="list-style-type: none"> ・かけ算やわり算など、正しい計算手順が身に付くよう、毎日練習しましょう。 ・三角定規や分度器、コンパスなどを正確に操作できるように繰り返し練習しましょう。 	<p><その他></p> <ul style="list-style-type: none"> ・音楽のリコーダーで習った曲を練習しましょう。 ・習った漢字を使って、日記などの文を書けるようにしましょう。 ・社会や理科で勉強する地域社会の文化や産業、自然について等をまとめましょう。
--	--	--

お困りの際には…

※家庭学習についてお困りのことがありましたら、担任までご相談ください。





家庭学習のすすめ

小学校 5・6年生



家庭学習とは…？

宿題と自主学習(自学)のことです。

◎宿題……必ずやってほしい課題です。主に、「読む」「書く」「計算する」等の基礎学力を身に付けることを目指します。

◎自主学習…自分で課題を見つけて行う学習です。宿題では足りないところを補ったり興味や関心があることに進んで取り組んだりします。

家庭学習で身に付くかって…？

基礎学力が確実に身に付きます。また、自分で学習時間を作り出そうとする態度が「考える力」や「表現する力」を伸ばし、さらに「意欲」「自分をコントロールする力」「生活リズムを整える力」「自己決定力」「集中力」「課題発見力」「課題解決力」「豊かな自尊感情」「嫌なことでも我慢する心」等の『人間力』となって、自分自身を高めます。これらの力は、毎日コツコツと努力する繰り返しの中で身に付いていくもので、社会人として必要な力でもあります。

5・6年生では…

生活のリズムの乱れは、学習習慣にも影響を及ぼします。もう一度、生活習慣を見直し、計画的に準備を進めることが重要です。学習に対する意欲や興味・関心を高めるために、教師や家族の言葉かけが大切になります。目標を決めて努力できるよう、あたたかく見守りながら励ましていきましょう。

学習時間のめやす

50～60分

月 日

学年×10～15分が目安です！

家庭での援助

- 考える力が大人並みになり、時には大人への反抗も見られるようになります。
- 「やればできる」という気持ちをもたせ、子どもの自尊感情を育てるように、ほめたり励ましたりすることが大切です。
- 学習する場所を決め、整理整頓し、計画を立てて学習が進められるようにしましょう。

学校で主に宿題として位置付けているもの

国語

社会

算数

- ・音読
- ・漢字の練習（ドリル・ノート等）
- ・算数の学習（ドリル・プリント等）
- ・パソコン（週1回程度）等

※学習の進度に応じて、内容や量を調整しています。また、復習や定着のために、今まで学習した内容を出すことがあります。

理科

さらに力を伸ばすために…

<p><国語></p> <ul style="list-style-type: none"> ○漢字 <ul style="list-style-type: none"> ・漢字の構成や字形を意識して練習しましょう。 ・短文づくりに取り組みましょう。 ○読書 <ul style="list-style-type: none"> ・色々な種類の本を選んで読むように心がけましょう。 	<p><算数></p> <ul style="list-style-type: none"> ・計算力を向上させるために、よく間違える計算は、繰り返し練習しましょう。 ・答えの確かめを自分でできるようにしましょう。 ・間違った問題は、必ず見直し、もう一度やり直しをしましょう。 	<p><その他></p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校での学習内容を振り返りながら、教科書やノート、プリントなどを参考して、自主的に勉強したり、苦手な内容を取り組んだりしましょう。 ・理科や社会等で学習する内容を調べてまとめましょう。
---	---	---

お困りの際には…

※家庭学習についてお困りのことがありましたら、担任までご相談ください。



～家庭学習3つのポイント～

- ① テレビを消して、学習に集中する。
- ② 身の回りを整頓して学習する。
- ③ よい姿勢で学習する。